

■最近の話題を考える“知財NEWS”知財トピックス(2017.4)

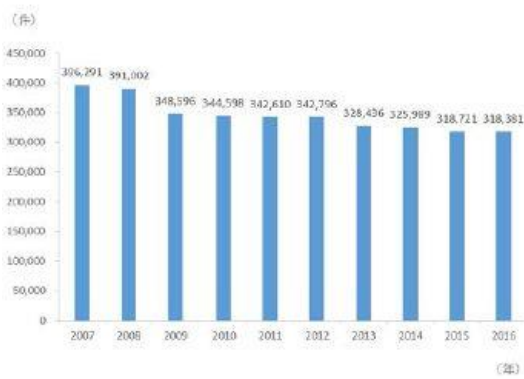


「特許庁ステータスレポート 2017」発表される  
 特許業務法人 前田特許事務所  
 弁理士 大石憲一

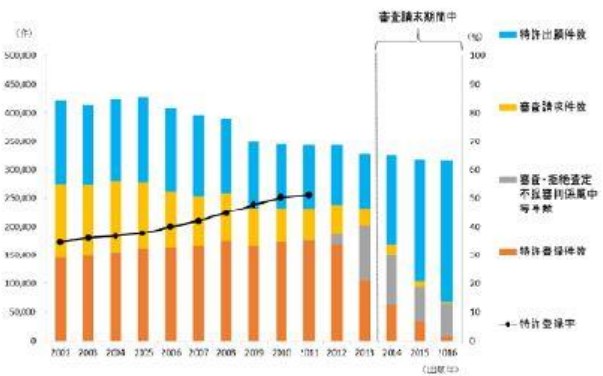
今回の知財ニュースは、特許庁が先月発表した「特許庁ステータスレポート 2017」についてです。

特許庁は、2015 年から、最新の特許庁の統計情報及び政策の成果をいち早く発信することを目的として「特許庁ステータスレポート」を発表していますが、今年3月30日に発表しました。興味がある方は、下の URL からダウンロードできますので、ご覧になってください。 <http://www.jpo.go.jp/shiryou/toukei/status2017.htm>

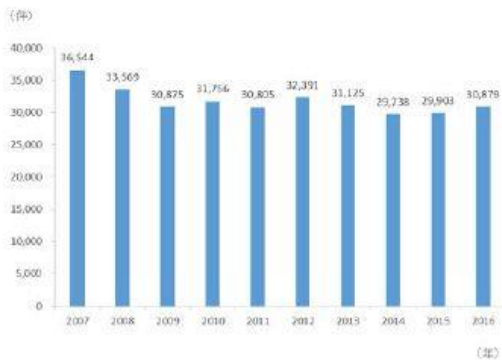
【図 1: 特許出願件数の推移】



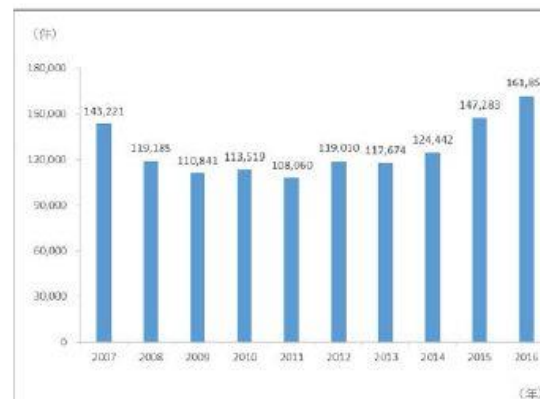
【図 2: 出願年別で見る特許出願・審査請求・特許登録等の推移】



【図 3: 意匠登録出願の推移】



【図 4: 商標登録出願の推移】



出典: 特許庁ステータスレポート 2017

図 1 にもあるように、2016 年の日本の特許出願件数は 318,381 件で、また減少したようです。一方、図 2 の折れ線グラフに示す特許登録率（特許出願件数に対する特許登録件数の割合）は増加傾向になっており、出願内容の厳選化が進んでいることも伺えます。

また、図 3、図 4 の意匠、商標について見てみると、2016 年の意匠登録出願件数は 30,879 件、商標登録出願件数は 161,859 件であり、いずれも前年より増加したようです。商標については、音商標や色彩の商標等、出願対象が増えたことも増加の要因だと思います。

特許を主に担当している弁理士からすると少し寂しい結果ですが、時代の流れと共に、知財の業界でも、技術重視からサービス重視に変化しているのかも知れません。

以上